

令和4年度

予算の概要

～市政発展へ 歩み着実に～

市民生活の安全・安心に留意するとともに市を取り巻く環境の変化に対応し、市政の発展を着実に進める予算としました。

☎財政課 ☎94-4862

予算総額 601億4600万円

令和4年度各会計予算総括表

会計名	令和4年度予算額	前年度予算との比較(伸び率)
一般会計	346億9500万円	+18億700万円(+ 5.5%)
国民健康保険事業	97億4600万円	+6400万円(+ 0.7%)
用地取得事業	1億2200万円	-5100万円(-29.5%)
介護保険事業	79億2200万円	+3億1200万円(+ 4.1%)
後期高齢者医療事業	15億3400万円	+6700万円(+ 4.6%)
小計	193億2400万円	+3億9200万円(+ 2.1%)
① 公共下水道事業	61億2700万円	+3億8800万円(+ 6.8%)
合計	601億4600万円	+25億8700万円(+ 4.5%)

①…公営企業会計

一般会計 346億9500万円

依存財源 国・県が定めた基準により交付される支出金や、市が借り入れる財源

●依存財源合計 152億145万2千円(43.8%)

交付金など(国税などから市に交付されるお金)

40億1310万1千円 ▲UP

- 地方消費税交付金 23億1500万円
- 地方交付税 8億8100万円
- 地方譲与税 2億4310万1千円
- 地方特例交付金 1億100万円
- 配当割交付金 8800万円
- その他の交付金 3億8500万円

市債(市の借入金)

16億990万円 ▼DOWN

県支出金(県からの補助金など)

28億5583万9千円 ▲UP

国庫支出金(国からの補助金など)

67億2261万2千円 ▲UP

その他(維持補修費、予備費、積立金、災害復旧費など)

6億8191万9千円 ▲UP

貸付金(中小企業や勤労者などに対する貸付金)

2億6020万円 ▼DOWN

補助費等

(市が交付する補助金や市がかける保険料など)

28億9487万8千円 ▲UP

公債費(市債の償還金など)

27億9625万8千円 ▲UP

普通建設事業費

(道路や学校、公園などを整備する経費)

18億2622万9千円 ▲UP

繰出金(特別会計に渡す財源など)

33億6156万9千円 ▲UP

自主財源 市が自ら収入できる財源

●自主財源合計 194億9354万8千円(56.2%)

市税(市に納められる税金)

166億9022万円 ▲UP

- 市民税 76億2800万円
- 固定資産税 73億1210万円
- 都市計画税 8億8910万円
- 市たばこ税 6億4000万円
- 軽自動車税 2億2102万円

諸収入(ほかの項目に該当しないさまざまな収入)

6億8384万4千円 ▲UP

繰越金(前年度の残金として繰り越した財源)

7億円 ▲UP

その他

14億1948万4千円 ▲UP

- 繰入金 7億8366万8千円
- 使用料及び手数料 3億2316万9千円
- 分担金及び負担金 2億1476万3千円
- 寄附金 8610万円
- 財産収入 1178万4千円

扶助費

(社会保障制度の一環として、生活維持を図るための経費)

103億6422万2千円 ▲UP

人件費(職員給与や議員報酬など)

68億4921万5千円 ▲UP

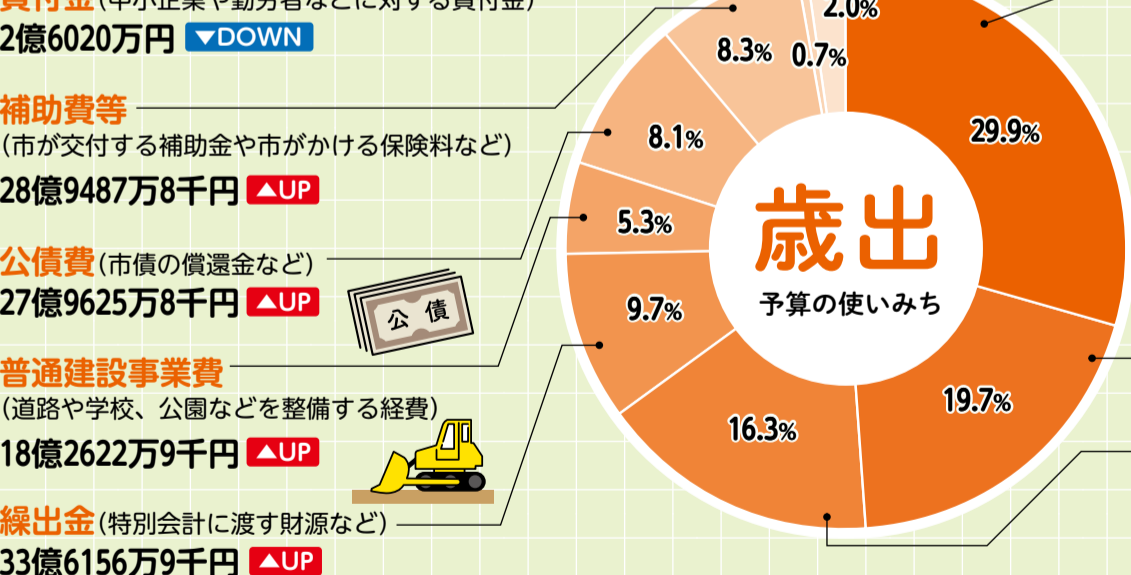
物件費

(業務委託費や機器賃借料、消耗品代、印刷代、光熱水費、電話代、郵便代など)

56億6051万円 ▲UP

歳入 市に入るお金

歳出 予算の使いみち



市民一人当たりの予算の使いみち 合計 34万3855円(+2万263円)

※令和4年3月1日現在の人口、10万900人で算出。()内は前年度との比較

民生費 15万6206円(+9731円)
児童や障がい者、高齢者などの福祉のために

総務費 3万6778円(+2107円)
住民登録や交通安全対策、選挙などのために

衛生費 3万6278円(+1442円)
ごみ処理や環境対策、健康管理などのために

消防費 1万4776円(+1223円)
消防や救急、防災のために

農林水産業費 4735円(+847円)
農業、林業の振興のために

土木費 3万1870円(+3298円)
道路や河川、公園などの整備・維持補修のために

公債費 2万7713円(+934円)
市債の返済に

教育費 2万7105円(+1069円)
小・中学校や生涯学習、スポーツなどのために

商工費 5401円(-371円)
商業や工業、観光の振興のために

その他 2993円(-17円)

第5次総合計画 中期戦略事業プラン

令和4年度の主な取り組み

新…新規の取り組みがある事業 充…充実させた取り組みがある事業 ※金額は新規・充実を含む全体事業費

暮らし 誰もが明るく暮らせるまち

健康づくり推進事業 2128万5千円
市民が自ら進んで健康づくりに取り組み、生活習慣の見直しや改善を図ることができるよう、健康教育や保健師・栄養士による健康相談などを推進

すこやか親子推進事業 3億1589万円
小児医療費助成は、0歳～中学校3年生までの通院・入院にかかる医療費を助成するとともに、10月から所得制限の対象を満1歳以上から小学校1年生以上に緩和
妊婦健診の費用助成などを通じて、安全で安心な出産を迎えられるよう支援。4月から産婦健康診査の費用助成を開始

放課後子ども教室推進事業 1429万4千円
放課後における子どもたちの安全・安心な居場所づくりとして、学校施設などを活用した放課後子ども教室(いせはら未来っ子クラブ)の事業拡充に向けて1教室を増設

安心 地域で助け合う安全で安心なまち

危機対応力アップ事業 457万5千円
防災情報を適時適切に伝達するため、可聴範囲の拡充対策として、防災行政用無線(固定系)の機能を強化

防災機能を持つ公園整備推進事業 550万円
都市公園において、かまどベンチなど防災機能を兼ね備えた設備などを整備

(仮称)秦野市・伊勢原市共同消防指令センター整備事業 8880万円
消防の広域連携を図り、秦野市との共同消防指令センターの建設を2カ年(1年目)で実施

市債残高

公営企業会計で借入れが増加するものの、令和4年度の市全体の市債残高は減少する見込みです。市債の借入は、後年度に財政負担をもたらすということを十分認識した上で適切に管理・運営を図っていきます。

会計名	令和4年度末現在高(見込)	3年度末との比較
一般会計	208億2005万5千円	-10億8321万9千円
普通債	98億2895万9千円	-5億5420万2千円
特例債	109億9109万6千円	-5億2901万7千円
特別会計	5億5986万6千円	-1億2118万円
用地取得事業	5億5986万6千円	-1億2118万円
公営企業会計	168億8037万3千円	+1億1976万6千円
公共下水道事業	168億8037万3千円	+1億1976万6千円
合計	382億6029万4千円	-11億242万3千円

*数値は、各年度末の元金(利息は含まない)の見込額です

活力 個性豊かで活力あるまち

農業経営基盤強化対策事業 3393万3千円
地域農業の担い手を確保し、優良農地を保全するため、認定農業者や認定新規就農者などが安定的・継続的な農業経営を確立できるよう支援するとともに、農地中間管理事業などを通じた農地の集積・集約化を促進

伊勢原大山インター土地区画整理推進事業 3億1146万8千円
伊勢原大山インター土地区画整理組合が施行する事業の円滑な進捗を図るため、技術的援助や補助金を交付して組合を支援

伊勢原駅北口周辺地区整備事業 1億5916万3千円
令和3年度に設立された伊勢原駅北口地区再開発準備組合の運営を支援するとともに、準備組合や事業協力者と施設計画の立案など、都市計画変更手続きに必要な各種調査・検討を実施

都市 住み続けたい快適で魅力あるまち

低炭素社会をめざす省エネルギー推進事業 1041万4千円
地球温暖化対策として「ゼロカーボンシティいせはら」の実現に向けた計画の策定および「COOL CHOICE(クール・チョイス)」普及活動事業により、温室効果ガスの削減や省エネ対策の普及啓発を実施

公共施設適正化推進事業 1027万円
公共施設などの適正管理の取り組みを推進するとともに、公共施設等総合管理計画の改訂を実施

公園施設保全改修事業 2535万3千円
都市公園を市民が安全・安心に利用できるよう、老朽化した市民の森ふじやま公園トイレの改修および遊具施設などの更新を実施。また、市内公園の公園灯LED化工事が完了したことに伴い、令和4年度から運用を開始

自治 みんなで考え行動するまち

オンライン化などによる行政サービスの拡大 622万1千円
新しい生活様式の実践に向け、マイナポータルからのオンライン申請への対応など、情報通信技術を活用した行政サービス利用の普及を促進

窓口サービスの効率化 3690万2千円
行政サービスの効果的な運営のため、ワンストップ窓口の円滑な運用とともにコンビニ交付の普及促進を図り、個人番号カードの普及啓発を推進

市債残高と起債・償還額の推移 ※数値は、各年度末の元金(利息は含まない)の見込額

